

よつぼし



未来に輝け 横央っ子の 四つ星（思ひやり星，学び星，健康星，働き星）

子供たちに伝えた「挨拶」と「寛容」

ニュースでも報道されていますが、この夏の日本の平均気温は平年と比べて2.36度高く、気象庁が1898年（明治31年）に統計を取り始めてから最も高くなったそうです。9月になってからも異常な暑さは続いており、子供たちが熱中症にならないために、引き続き細心の注意を払っていきたいと思います。

さて、夏休み明けの会で子供たちに次の2つのことを伝えました。

① 気持ちの良い挨拶をしましょう。

皆さんが通いたい学校にするための第一歩は、挨拶です。

② 寛容さを持ちましょう。

寛容とは「心が広く、友達を受け入れること」であり、友達のことをよく考えることが大切です。寛容さがないと、いじめなどの問題が起きやすくなります。

また、寛容は、4つ星でいうところの「思ひやり星」になります。家でも、学校でも寛容さを持ち続けてください。

気持ちの良い挨拶をする子供はかなり増えました。それでも全員ができるようになるまで、挨拶の大切さを伝え続けるつもりです。

また、社会全体で寛容さが失われつつあるからこそ、より良い人間関係を築くために、「寛容」の重要性について折に触れ子供たちに伝えていきます。

いじめゼロ強調月間(9月)

9月は今年度2回目の「いじめゼロ強調月間」になります。「いじめは決して許されない」ことを伝えるとともに、思ひやりや助け合いの心を育てていきます。また、次のことに取り組みます。

- ・いじめゼロリボンシールの着用
- ・いじめに関するアンケート調査の実施
- ・いじめに関する内容を含んだ道徳の授業実施
- ・教職員による休み時間等の巡回
- ・児童集会「いじめゼロ集会」の実施
- ・いじめゼロスローガンの作成
- ・家庭への情報発信
- ・実態に応じた学級での指導

ご家庭におきましてもお子さまに様子を聞くなど、ご協力をお願いいたします。

ボランティア活動に感謝

本校の特長として、PTA活動や地域協議会活動が活発に行われていることがあります。適宜行われている「学習支援ボランティア」や「プチボランティア活動」のほか、8月30日（土）に実施しました「親子奉仕活動」にも、多くの保護者の方に参加していただきました。心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



授業の様子から

6年生の全体的な傾向として、一斉授業の時は発表する児童は少ないものの、グループ活動では意見の交換を活発に行っています。また、授業に集中している児童が多く、教師の発問に対して自分の考えを持つとともに、ノートに丁寧にまとめることができます。このため、令和7年度全国学力学習状況調査において、県平均を上回る結果を残しました。（詳細は後日、お伝えします。）



5年生がふれあい文化教室（和太鼓）に参加しました。世界で活動してきた和太鼓奏者の壺太郎さんによる指導や演奏は熱いものがあり、多くの児童が太鼓の魅力に引き込まれていました。

